

あなたの声を町政に

6月定例議会では、13人の議員が31問の一般質問を行いました。



西尾寿博議員

なぜ農産物処理加工施設を

町長 やれる見通しができた

問 本年3月議会で、2億1000万円の予算（町負担3800万円）を議決した「農産物加工施設」、また「大山恵みの里公社」の運営方法について問う。

①見直す、中止すると言われた新町長が、どのような判断で続行するのか。

- ②住民や生産者とのかわりや意見を聞いたか。
- ③「大山恵みの里公社」の運営方法にさまざまな不満が出ている。
- (イ) 登録会員数と零細農家の割合は。
- (ロ) 手数料の違いがある、理由は。
- (ハ) 零細農家やお年寄り



農産物処理加工施設（イメージ図）

の声を拾い上げるような役員体制か。

(二) GAP（農業生産工程管理）、トレーサビリティ（生産履歴）の取り組みは。

答（森田町長）

①農産加工施設では、生産体制の確立と採算性の確保に重点を置く等の見直しの中で、危惧していた採算性や持続性に見通しを立てることができた。

②担当課と協議をし、生産者総会等では、結論ありきではなく、議論を深める中で、一定の合意を求め、結論を導き出す。

③(イ) 208会員（中山42、名和107、大山55、その他4）

比較的、小規模農家、高齢の会員が多い。

(ロ) 手数料は、みくりや市・道の駅が15%、米子

市内スーパーの持ち込みで25%、大山恵みの里便の利用で30%

(ハ) 旧町単位で選出された役員を中心に生産者協議会が組織される。そこで、会員の意見を事細かに吸い上げる。

(二) 公社を中心に今後、進めてゆく。

自主財源の重要性は

町長

同感である

問 財政危機はこれから本番、国も県も本当に借金だらけ、大山町も国の交付金のさじ加減により右往左往している。安定した特色ある事業展開を考えるならば独自の財源を作り出すことこそ大きな目標ではないか。

①自主財源として大山のブナの森が育んだ水を横

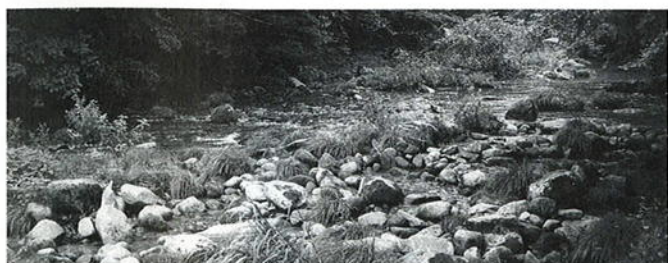
穴から吸い上げる業者から何らかの保全税を取れないか。

②滞納問題、無駄な事業、及び職員の教育等の見直しも内にひそむ自主財源では。

答（森田町長）

①自主財源の重要性については同感であり、研究しながら判断をしていく。

②むだな事業、職員の教育等、担当課と検討しながら精査する。



大山の森が育んだ水